

授業科目	*こども学基礎演習（池田）				単位	2		
履修	必修	関連資格			ナンバリング	CH11224J		
開講年次	1年	開講時期	通年	該当DP	DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	池田 佐輪子							
授業概要	<p>この科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身につけることを目的としています。また、「人間関係形成・社会形成能力」を高めるために、少人数制の演習で、ゼミ毎に授業を行います。なお、2年次「こども学特別演習」につながる科目です。履修カルテを用いて、2年間の学修の見通しを立てます。</p> <p>前期では、主に人間関係を深める活動と子どもと遊びを通してふれ合う体験から学んでいきます。2年間の学びを支え合う仲間と共に、保育への学びの動機付けとなるような体験と学習を行います。</p> <p>後期では、「おはなし発表会」の企画実施を行います。子どもに相応しい内容を自分たちで考え準備し、保育教材を用いたおはなしの発表を一年生全員の前でゼミ毎に披露する内容です。</p> <p>また、この授業では前後期を通して「認定絵本士」に関わる内容が組み込まれています。資格取得を希望する人は必ず受講してください。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 子どもや保育への理解を体験によって深め、保育の学びに対するモチベーションを高める 少人数集団の中で、自己の役割を見出し、他者と協同しながら、行事の企画遂行ができる 保育職に必要な「子ども観」を身につける 保育における遊びやおはなしの重要性を理解し、実践することができる力を身につける 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	20	0	60	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			10			20	30	
態度 (DP4-2)			10	10		20	40	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				10		20	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ゼミ活動においては、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝え、自己の役割を果たしつつ他者と協同して行事を成功に導くことができる。また、体験を通して学んだことを他の授業内容の理解に活かすだけでなく、自己課題として受け止め、実習やボランティアなど様々な場で積極的実践的に活かすことができる。				ゼミ活動に積極的にに関わり、行事で自己の役割を見出し、仲間との協調を深められる。また、体験を通して学んだことを、他の授業や実習で関連付けながら理解することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ:授業ガイダンス 「履修カルテ」を用いて、2年間の保育科の学びの全体像を知り、1年生前期の学修の見通しを立てる。	演習:全体→ゼミ	予習として、1年生前期で受講する授業のシラバスを読んでくる 復習として、履修カルテを記入する	30
2	テーマ:研修の準備1 新入生研修について説明を受け、必要な準備を行う。	演習:全体→ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
3	テーマ:研修の準備2 新入生研修に必要な準備を行う	演習:全体	準備に必要な情報や物品を用意する	30
4	テーマ:「認定絵本土」オリエンテーション (認定絵本土講座)オリエンテーション) 「認定絵本土」資格について説明を受ける ブックトークの事前説明	演習:全体	復習として、認定絵本土について調べる。ブックトークに必要な絵本を探す。	30
5	テーマ:研修の準備3 新入生研修に必要な準備を行う	演習:ゼミ	準備に必要な情報や物品を用意する	30
6	テーマ:新入生研修1 学外で親睦を深める研修を行う	演習:全体	自己評価に向けた活動の振り返り	30
7	テーマ:新入生研修2 学外で親睦を深める研修を行う	演習:全体	自己評価に向けた活動の振り返り	30
8	テーマ:新入生研修3 学外で親睦を深める研修を行う	演習:全体	自己評価に向けた活動の振り返り	30
9	テーマ:新入生研修の振り返り 研修を振り返り、課題となることを話し合う 次週「ブックトーク」の説明	演習:全体→ゼミ	自己評価をもとに自己課題を考える。次週のブックトークの準備を行う。	30
10	テーマ:ブックトーク、ビブリオトークをやってみよう(認定絵本土講座「絵本を紹介する技術1」) 子ども向けのお話について調べ、ゼミの人たちにおすすめの本を紹介する	演習:ゼミ	予習として、ブックトーク・ビブリオトークの練習をしておく。 復習として、事後レポートを作成する。また他の人が勧めてくれた本を調べ、読んでみる。	90
11	テーマ:「おはなし発表会」「遊び体験実習」の説明 「遊び体験実習」の実習先と行き方の確認 「おはなし発表会」に向けた話し合い	演習:全体	必要な情報を集め、役割分担に基づき準備を行う	30
12	テーマ:幼児との「遊び体験」の説明と事前学習 「遊び体験学習」に向けて、事前の説明を受け準備を行う。子どもと関わる上で必要な姿勢や視点を身につけ、自分の目標を立てる。	演習:全体→ゼミ毎	行き先となる園について調べる 体験学習の準備を行う 学習シートを完成させる	30
13	テーマ:「遊び体験」 近隣の幼稚園・保育所に行き、子どもの自由遊びの時間に一緒に遊ぶ体験をする。	演習:ゼミ(3-4ゼミ合同)	体験活動を振り返り、レポートを作成する	60
14	テーマ:「遊び体験」の振り返り学習 アフターミーティング(AM)を行い、体験で感じた疑問や質問を話し合い、互いに体験を共有する。	演習:ゼミ(3-4ゼミ合同)	AMの振り返りレポートを作成する	60
15	テーマ:おはなしの手法を学ぶ(1) (認定絵本土講座「おはなし会の手法1」) 外部講師による演習授業。「おはなし発表会」に向けた技術を学ぶ。	演習:全体	「おはなしの手法を学んで」レポート作成	60
16	テーマ:「おはなし発表会」企画決め ゼミで「おはなし発表会」の演目や内容を決める	演習:全体→ゼミ	予習として、「おはなし発表会」で披露したい題材を探しておく。	60

			復習として、どんな内容にするかイメージ付けをしておくこと。	
17	テーマ:前期のまとめ、履修カルテ作成 前期の学習を振り返り、履修カルテに記入する	演習:全体→ゼミ	履修カルテの記入	60
18	テーマ:後期オリエンテーションと学びの計画、企画発表会の準備 履修カルテを用いて、後期の学びの計画と目標を立てる。 次週の「おはなし発表会」企画発表会に向けて準備を行う。	演習:全体→ゼミ	履修カルテの確認と後期の目標の記入 企画発表会に向けて、ゼミで資料をまとめておく	60
19	テーマ:「おはなし発表会」に向けた企画発表会 12月の発表会でどんな内容をするか、決まったことを企画書にして全体に向け発表する	演習:全体	復習として、企画の改善等を行う。	60
20	テーマ:おはなしの手法を学ぶ(2) (認定絵本土講座「おはなし会の手法2」) 外部講師による授業。「おはなし発表会」を見据えて、必要な技術を学ぶ。	演習:全体	予習として、「おはなし発表会」で必要なおはなしの技法が何かを考えておく。 復習として、企画の改善や練習を行う。	60
21	テーマ:「おはなし発表会」の企画・準備・練習1 「おはなし発表会」に向けて、ゼミ内で題材や表現方法を決め、準備や練習を行う。	演習:ゼミ	発表会の準備	30
22	テーマ:「おはなし発表会」の企画・準備・練習2 「おはなし発表会」に向けて、ゼミ内で題材や表現方法を決め、準備や練習を行う。	演習:ゼミ	発表会の準備	30
23	テーマ:「おはなし発表会」中間発表 (認定絵本土講座「絵本の世界を広げる技術2」) これまでの練習・準備の成果を短い時間で発表する。 外部講師から助言をもらい、学生同士で指摘をし合う。各ゼミの役割分担の確認を行う。	演習:全体	改善点や役割分担の確認	60
24	テーマ:「おはなし発表会」の企画・準備・練習3 中間発表での助言を受け、改善を行う	演習:ゼミ	発表会の準備	30
25	テーマ:「おはなし発表会」企画・準備・練習4 直前の練習を行う。	演習:全体	発表会の準備	30
26	テーマ:「おはなし発表会」1 発表会の実施。	演習:全体	発表会の振り返り、レポート作成	30
27	テーマ:「おはなし発表会」2 発表会の実施。	演習:全体	発表会の振り返り、レポート作成	30
28	テーマ:おはなし発表会振り返り、ゼミ紹介、研究室訪問 発表会についての振り返りを行い、2年生の「こども学特別演習」に向けての、ゼミの希望調査について説明を行う。	演習:全体	発表会を振り返り自己課題を持つ 研究室訪問	60
29	テーマ:ゼミ決定 2年のゼミが決定し、教員と新しいゼミ生による顔合わせを行い、次年度のゼミ活動について話し合う。	演習:全体→ゼミ	演習の振り返り	30
30	テーマ:まとめ 履修カルテを用いて、一年間の学びを振り返る。また、2年生の目標やこれからの課題を見出す。	演習:全体→ゼミ	履修カルテの記入、提出	30
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の紹介など、普段から子どものおはなしに興味を持ちましょう。1号館4階にある「絵本の部屋」や図書館などで調べておきましょう。 ・「おはなし発表会」では、予めペープサート、紙芝居、人形劇、影絵、寸劇など表現方法について調べておきましょう。また題材にしたい話は、日頃から絵本や本を読んで関心を高めておきましょう。 			

テキスト	なし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ゼミ活動でそれぞれ紹介します
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	常に「子ども」「保育」「遊び」などに関する書物、新聞、ニュースに関心を持ち、情報を蓄えておくこと。
達成度評価に関するコメント	ゼミ活動に参加すること自体に意義があります。欠席することなく、活動に参加してください。休まず主体的に参加することで科目の目標達成がされるよう授業構成を行っています。そのため、「その他」では授業へ積極的に参加する姿勢や他者と協力する態度を評価します。